2024年３月期 決算説明会

株式会社横河ブリッジホールディングス

2024年5月21日

目次

1 第６次中期経営計画の進捗状況

2 企業価値向上に向けて

3 2024年３月期連結決算

4 2025年３月期業績見通し

5 Appendix

株式会社 横河ブリッジホールディングス

第６次中期経営計画の進捗状況

代表取締役社長　髙田 和彦

2024年３月期サマリー①

- ✓ 売上高は前年横ばいで着地。セグメント別では、橋梁事業は過去最高を更新する一方で、エンジニアリング関連事業や先端技術事業で伸び悩んだ。
- ✓ 営業利益は高水準で推移。セグメント別では、先端技術事業は伸び悩んだが、システム建築事業を中心にエンジニアリング関連事業での損益の改善に加え、橋梁事業の手持ち工事が順調に進捗。
- ✓ 投資有価証券売却益の計上により、当期純利益は過去最高。

2024年３月期サマリー②

● 橋梁事業

✓ 国内新設橋梁の発注量は計画の後ろ倒しにより伸び悩む中、下半期を中心に新設・保全ともに大型案件を複数受注することができ、概ね想定通りに推移。

✓ 2025年３月期の新設橋梁の発注量は低調に推移する見通しだが、受注確度を高め、保全工事への対応強化することで受注を拡大。

● システム建築

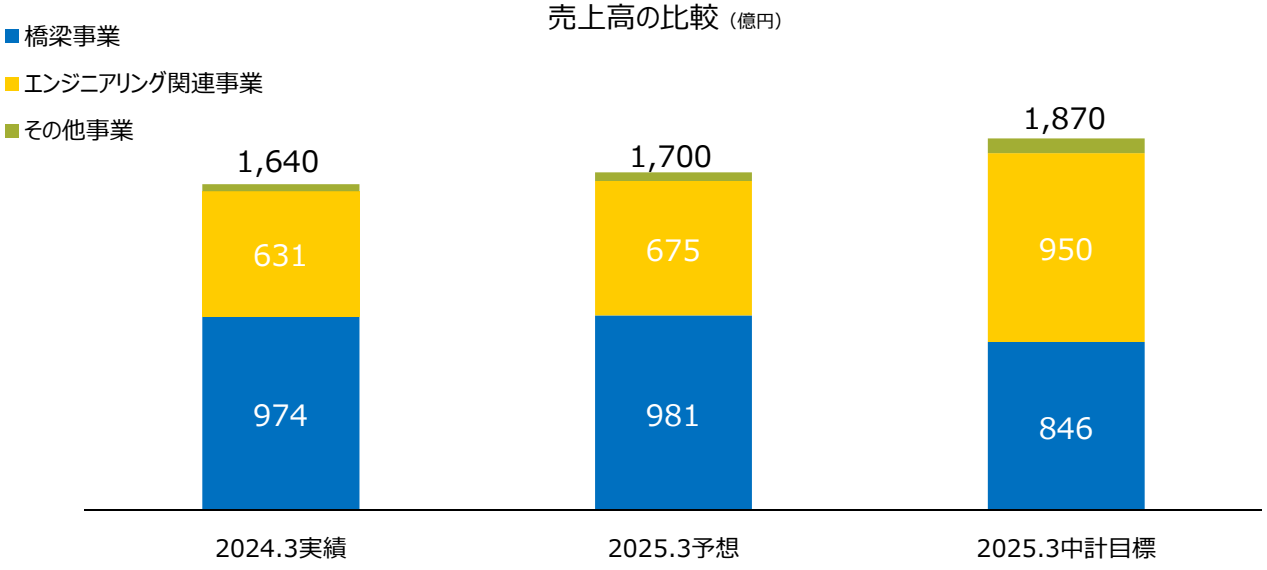
✓ 中小規模の工場や倉庫を中心に建設コストの上昇等により、設備投資計画の延期や見直しが生じるなど、受注は伸び悩んだが、年間を通じて引合いは堅調に推移。

✓ サプライチェーンの国内回帰や2024年問題による需要を確実に取り込み、店舗や事務所への取り組みや施主への直接営業の強化により、本来の成長軌道に回復させていく。

統計名「建築着工統計調査　建築物着工統計」
表題「構造別、用途別、規模別（鉄骨造）／建築物の数、床面積」「工場および作業所」と「倉庫」の床面積より

2025年３月期の通期見通し

- ✓ 売上高は増収、営業利益は販管費等の増加により若干の減益想定。
- ✓ セグメント別では、橋梁事業は売上高、営業利益ともに堅調。エンジニアリング関連事業では、システム建築事業は受注回復による売上高の増加を見込むものの、固定費の増加や値上げ効果の一巡等により減益想定。
- ✓ 更なる政策保有株式の縮減を予定しており、一定の特別利益を見込む。



第６次中期経営計画の進捗状況

第6次中期経営計画（2023.3～2025.3期）				
	2023.3期 実績	2024.3期 実績	2025.3期 予想	2025.3期 中計目標
売上高	1,649億円	1,640億円	1,700億円	1,870億円
営業利益	152億円	159億円	155億円	183億円
EPS	273円	291円	287円	290円
ROE	10.1%	9.9%	9％以上	9％以上
配当性向	31.1%	32.6%	38.3%	30%以上

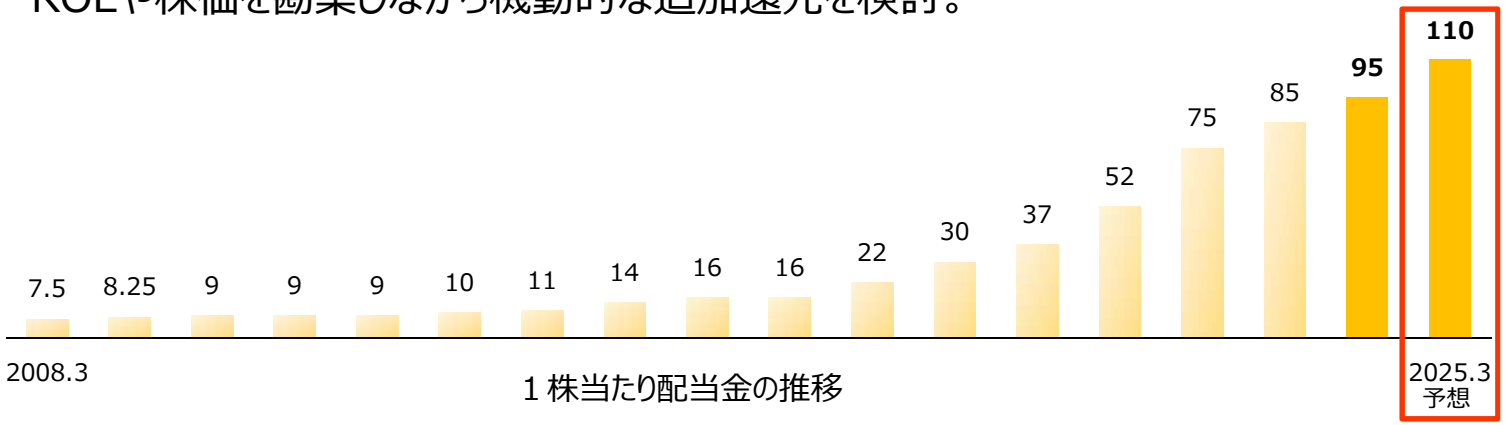
株主還元

● 2024年３月期

- ✓ 従来の「安定した配当」から「累進配当」に変更し、株主還元を拡充。
- ✓ 90円/株→95円/株に増配。配当性向は32.6%。
- ✓ 2023年３月期に続き、10億円の自己株式取得を実施。

● 2025年３月期

- ✓ 110円/株に増配（24.3期比+15円）、予想配当性向は38.3%。
- ✓ ROEや株価を勘案しながら機動的な追加還元を検討。



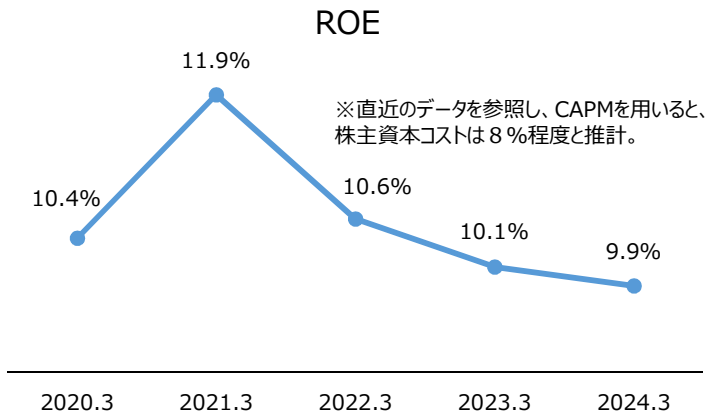
１株当たり配当金の推移

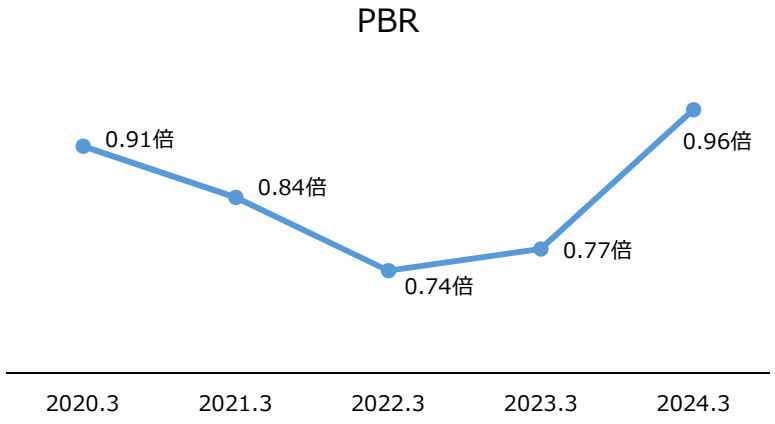
株式会社 横河ブリッジホールディングス

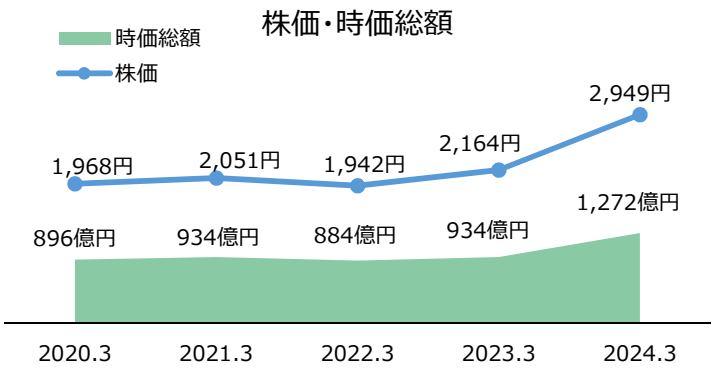
企業価値向上に向けて

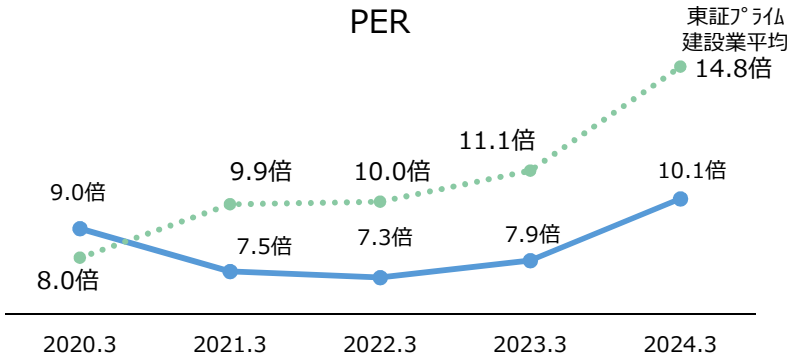
現状分析と評価

- ✓ ROEは株主資本コスト（８％程度）を上回る資本収益性を達成。
- ✓ PBRは株価の上昇が寄与し、１倍目前。
- ✓ PERは業界平均を下回る水準。その要因は成長性等について、十分な市場評価を得られていないためと推測される。









企業価値向上に向けて

✓ ROE向上、株主資本コスト抑制、期待成長率向上に取り組むことにより、PBRの改善を図る。

取り組み	進捗・達成状況
1 第6次中期経営計画の遂行	✓ 橋梁事業は想定を上回り順調に推移。保全事業への対応強化のため事業会社において、「床版更新推進室」を新設（2023年度） ✓ システム建築事業の受注が伸び悩み、土木関連事業も大型案件の進捗が遅れており、全体の業績は想定を下回る見込み
2 ROEの維持・向上	✓ 第６次中計目標（9%以上）を上回る水準を維持しており、株主資本コストを上回る資本収益性を達成
3 株主還元の拡充	✓ 配当性向30%を下限に累進配当を導入（2023年度） ✓ 増配基調の維持 ✓ 各10億円の自己株式の取得を実施（2022、2023年度）
4 新規事業分野への挑戦	✓ 事業会社において、洋上風力発電などの新規プロジェクト開拓に向けた技術開発および製品開発を行う「新規プロジェクト推進室」を新設（2024年度）

企業価値向上に向けて

取り組み	進捗・達成状況
5 政策保有株式の縮減	✓ ５銘柄19億円の売却（2022年度） ✓ ７銘柄31億円の売却（2023年度） ✓ 2024年度も更なる縮減を予定
6 コーポレート・ガバナンス体制の充実	✓ 監査等委員会設置会社に移行予定 ✓ 独立社外取締役の選任比率が過半数になる予定 （上記はいずれも2024年6月の定時株主総会への付議による） ✓ 統合リスク管理委員会の設置（2024年度）
7 知的財産の活用	✓ 知的財産の管理と活用の推進を図り、事業戦略および研究開発に活用し、競争力を高めるため、「知的財産室」を設置（2024年度）
8 役員報酬制度の改定と従業員向け譲渡制限付株式インセンティブ制度の導入	✓ 当社株式のTSRを役員報酬に反映させるとともに、従業員への株式付与を通じて、株主との一層の価値共有を深める（2023年度）
9 情報発信の強化	✓ コーポレートサイトの刷新および英文開示をはじめとするIR情報の開示強化（2024年度） ✓ 決算説明会の録画配信の開始（2024年度）

トピックス

国内橋梁業界で初のグリーンスチールを使用した鋼橋の建設

- ✓ 「福岡201号新朝倉橋（上り線）外上部工工事」（国土交通省九州地方整備局発注）において、国内橋梁業界で初めて、マスバランス方式の適用*1によりCO2排出量を100%削減した鋼材であるグリーンスチールを使用。
- ✓ 本橋梁の建設におけるカーボンニュートラルを実現するとともに、今後も関係各所と協力しながら、CO2排出量の削減に努める。

*1マスバランス方式を適用したグリーンスチール：
鉄鋼メーカーが実施した追加性のある削減プロジェクトによるGHG排出削減量またはCO2排出削減量を組織内でプールし、その削減量を任意の成分に配分して証書と共に供給する鉄鋼製品

新規事業分野（洋上風力発電関連事業）への挑戦

- ✓ 横河NSエンジニアリングがNEDOグリーンイノベーション基金*2事業として、戸田建設㈱の委託を受け、大型スパー型浮体構造の実大建造試験を実施。
- ✓ 楢崎製作所がMOPA*3に参画し、異業種間の連携を模索中。

長崎県五島市で日本初の浮体式洋上風力発電設備を実用化
（戸田建設㈱HPより引用）

室蘭港

*2NEDOグリーンイノベーション基金：国立研究開発法人 新エネルギー・ 産業技術総合開発機構に造成された、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、野心的な目標にコミットする企業等に対して、10年間、研究開発・実証から社会実装までを継続して支援する基金

*3MOPA（室蘭洋上風力関連事業推進協議会）：洋上風力を活用し、室蘭エリアの産業活性化を望む地場企業を中心に、室蘭港を洋上風力発電の拠点にすることを目指す協議会

三郷流山橋　（埼玉県道路公社）

WEINS PARK 海老名　U-BASE棟

柳川運輸株式会社　千代田倉庫

株式会社 横河ブリッジホールディングス

2024年３月期 連結決算

取締役常務執行役員　宮本 英典

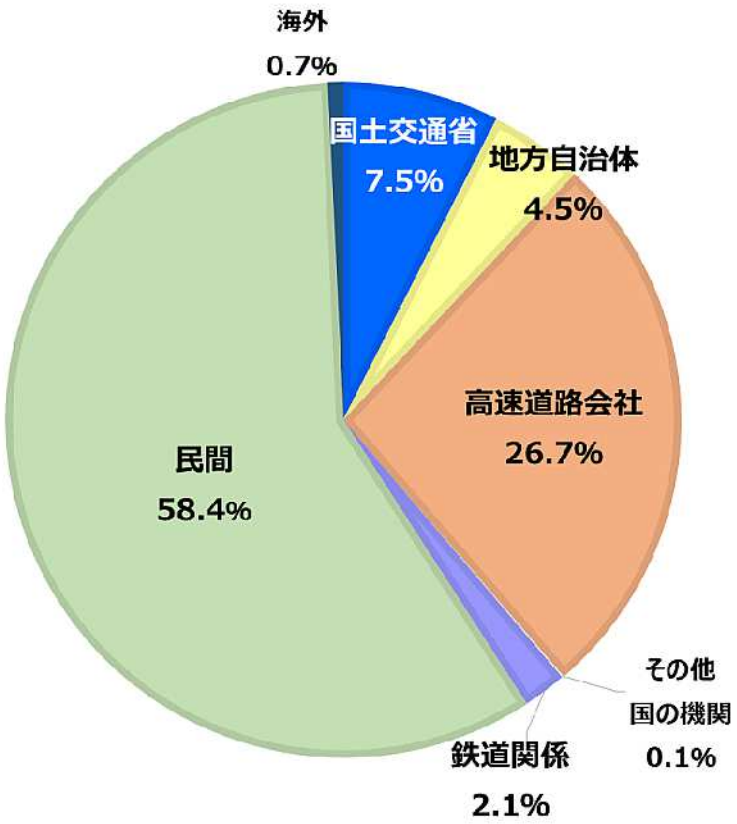
連結受注高

(百万円)

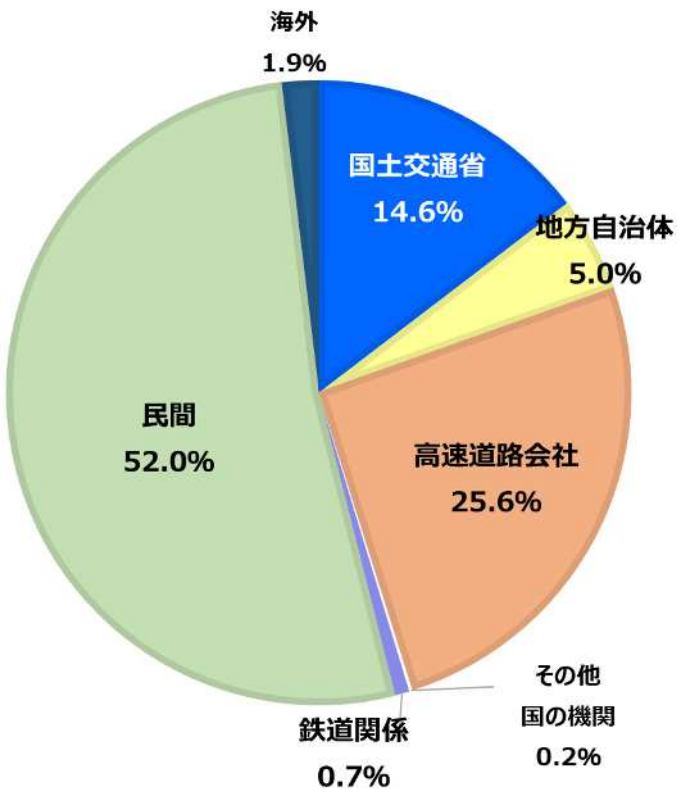
		2023年3月期	2024年3月期	増減額
橋　梁　事　業	新設橋梁事業	68,867	59,018	△9,849
	保　全　事　業	13,227	24,856	11,629
	海　外　事　業	△199	2,369	2,569
	小　計	81,895	86,245	4,349
エンジニアリング関　連　事　業	システム建築事業	52,657	38,411	△14,245
	土木関連事業	9,412	11,695	2,282
	建築・機械鉄構事業	9,312	6,514	△2,798
	小　計	71,382	56,621	△14,761
先端技術事業	精密機器製造事業	2,824	2,110	△713
	情報処理事業	894	732	△161
	小　計	3,718	2,843	△875
合　計		156,996	145,709	△11,287

得意先別受注実績（連結）

2023年３月期

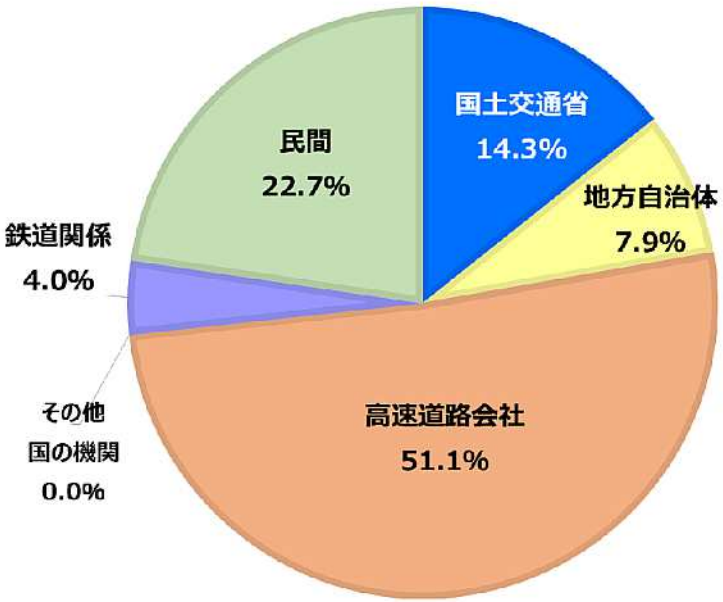


2024年３月期

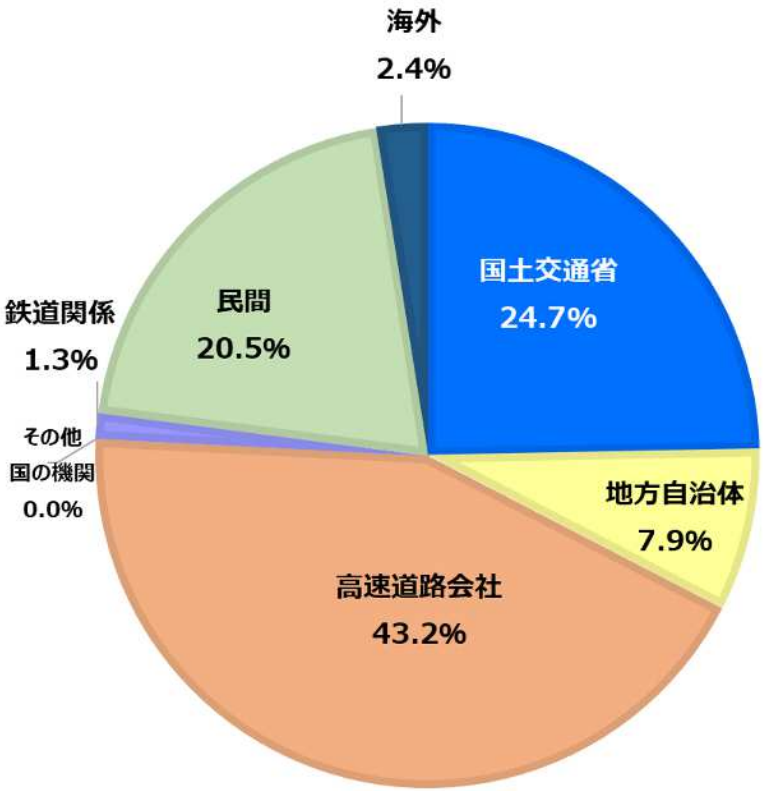


得意先別受注実績（橋梁事業）

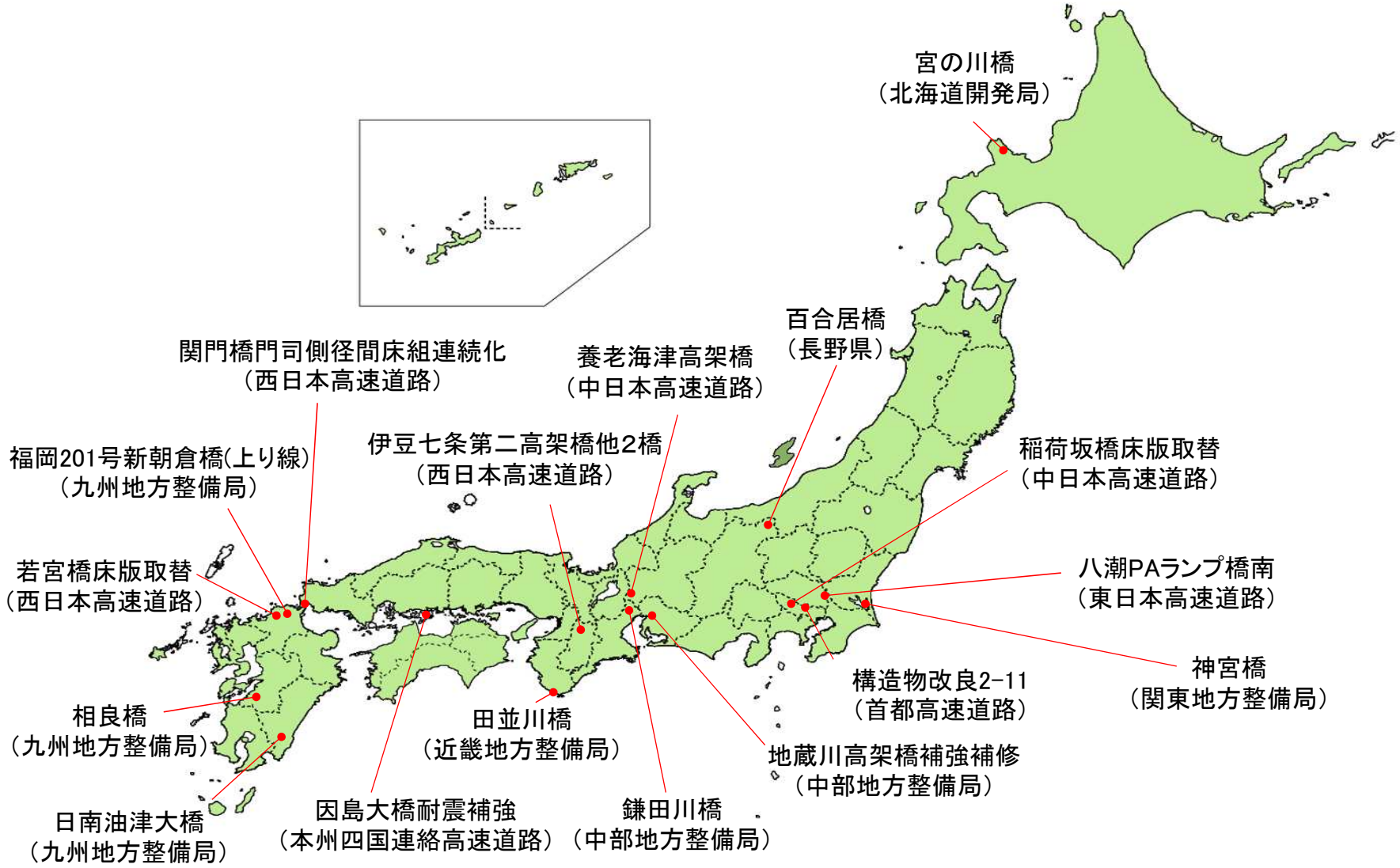
2023年３月期



2024年３月期



主な受注工事


宮の川橋
（北海道開発局）
百合居橋
（長野県）
関門橋門司側径間床組連続化
（西日本高速道路）
養老海津高架橋
（中日本高速道路）
伊豆七条第二高架橋他2橋
（西日本高速道路）
福岡201号新朝倉橋(上り線)
（九州地方整備局）
稲荷坂橋床版取替
（中日本高速道路）
若宮橋床版取替
（西日本高速道路）
八潮PAランプ橋南
（東日本高速道路）
神宮橋
（関東地方整備局）
構造物改良2-11
（首都高速道路）
相良橋
（九州地方整備局）
田並川橋
（近畿地方整備局）
地蔵川高架橋補強補修
（中部地方整備局）
日南油津大橋
（九州地方整備局）
因島大橋耐震補強
（本州四国連絡高速道路）
鎌田川橋
（中部地方整備局）

連結決算の総括

(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額
売　上　高	164,968	164,076	△892
営　業　利　益	15,218	15,946	728
経　常　利　益	15,452	15,857	404
親会社株主に帰属する当期純利益	11,243	11,854	611

連結売上高

(百万円)

		2023年3月期	2024年3月期	増減額
橋　梁　事　業	新設橋梁事業	57,612	64,904	7,292
	保　全　事　業	26,759	27,443	684
	海　外　事　業	2,646	5,063	2,416
	小　計	87,018	97,411	10,393
エンジニアリング関連事業	システム建築事業	54,593	46,903	△7,689
	土木関連事業	10,179	8,718	△1,460
	建築・機械鉄構事業	8,161	7,510	△651
	小　計	72,933	63,132	△9,801
先端技術事業	精密機器製造事業	3,520	2,154	△1,366
	情報処理事業	867	787	△80
	小　計	4,388	2,941	△1,446
不動産事業		628	591	△36
合　計		164,968	164,076	△892

連結経営成績（セグメント別）

（百万円）

		2024年3月期					2023年3月期 通期
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	
橋梁	売上高	22,410	23,563	25,872	25,565	97,411	87,018
	営業利益	1,349	1,587	3,310	2,568	8,816	8,954
エンジ	売上高	16,726	18,012	16,248	12,145	63,132	72,933
	営業利益	2,539	2,554	2,464	838	8,398	6,785
先端	売上高	738	554	618	1,029	2,941	4,388
	営業利益	41	△42	△29	140	109	633
不動産	売上高	151	149	146	144	591	628
	営業利益	98	98	97	89	384	368
全社費用		△464	△447	△448	△403	△1,763	△1,523
営業利益計		3,565	3,751	5,395	3,234	15,946	15,218

連結損益計算書

(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額
売上高	164,968	164,076	△892
売上総利益	25,472	26,828	1,355
販管費	10,254	10,881	627
営業利益	15,218	15,946	728
営業外収益	563	487	△76
営業外費用	329	576	247
経常利益	15,452	15,857	404
特別利益	1,144	1,946	801
特別損失	69	271	202
税金等調整前当期純利益	16,527	17,531	1,004
親会社株主に帰属する当期純利益	11,243	11,854	611

連結貸借対照表

(百万円)

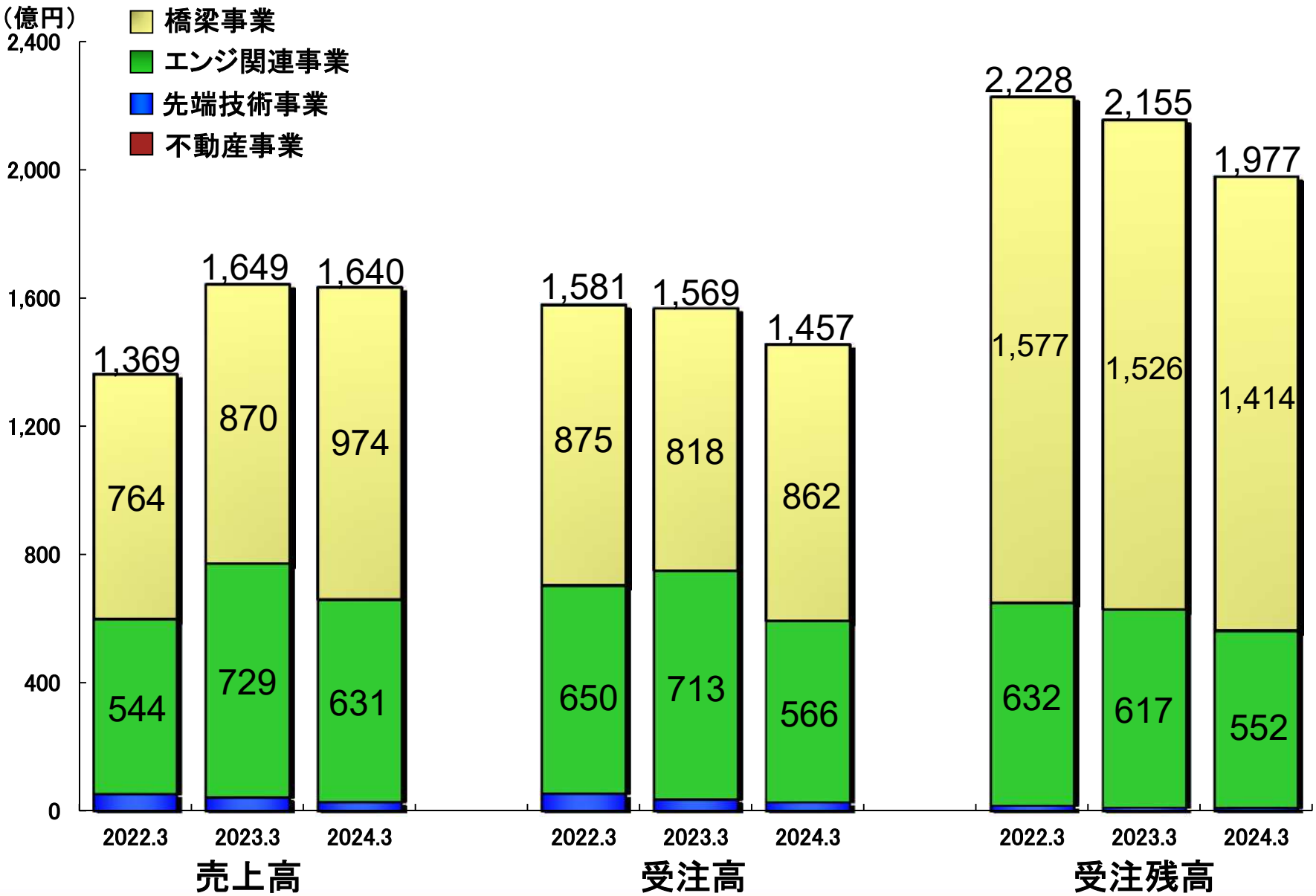
	2023年3月31日	2024年3月31日	増減額
流動資産	133,354	146,255	12,901
固定資産	61,101	64,590	3,488
資産計	194,456	210,846	16,389
流動負債	50,660	38,297	△12,362
固定負債	26,143	44,525	18,381
負債計	76,803	82,822	6,018
純 資 産	117,653	128,023	10,370
負債純資産計	194,456	210,846	16,389

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額
営業活動によるＣＦ	△4,350	△1,637	2,712
投資活動によるＣＦ	△1,844	△972	872
財務活動によるＣＦ	7,850	2,516	△5,334
換算差額	28	△60	△89
増減額（△は減少）	1,684	△154	△1,838
期首残高	23,458	25,143	1,684
期末残高	25,143	24,988	△154

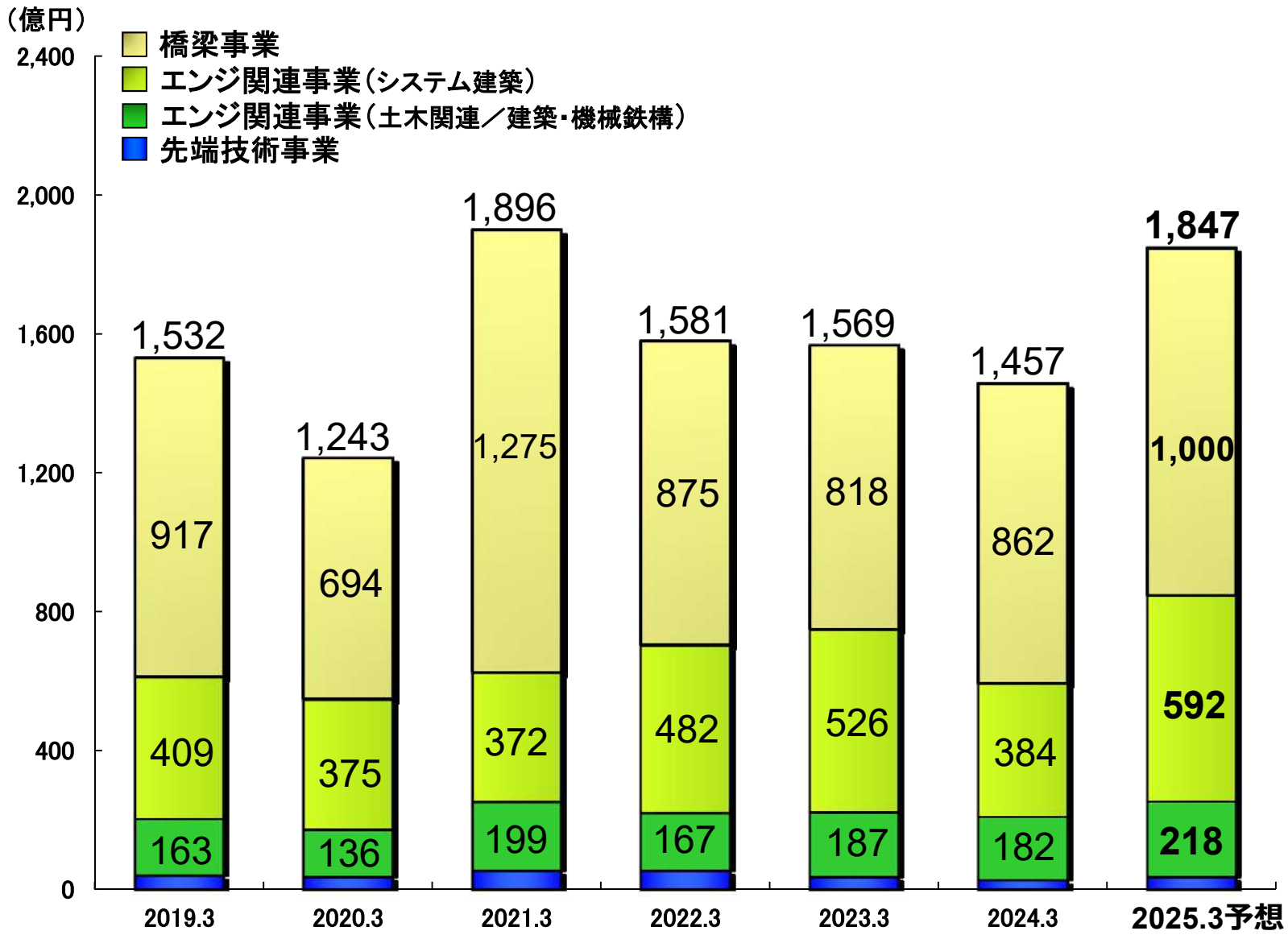
売上高・受注高・受注残高


（億円）
橋梁事業
エンジ関連事業
先端技術事業
不動産事業
2,400
2,000
1,600
1,200
800
400
0
1,369
764
544
1,649
870
729
1,640
974
631
1,581
875
650
1,569
818
713
1,457
862
566
2,228
1,577
632
2,155
1,526
617
1,977
1,414
552
2022.3
2023.3
2024.3
売上高
受注高
受注残高

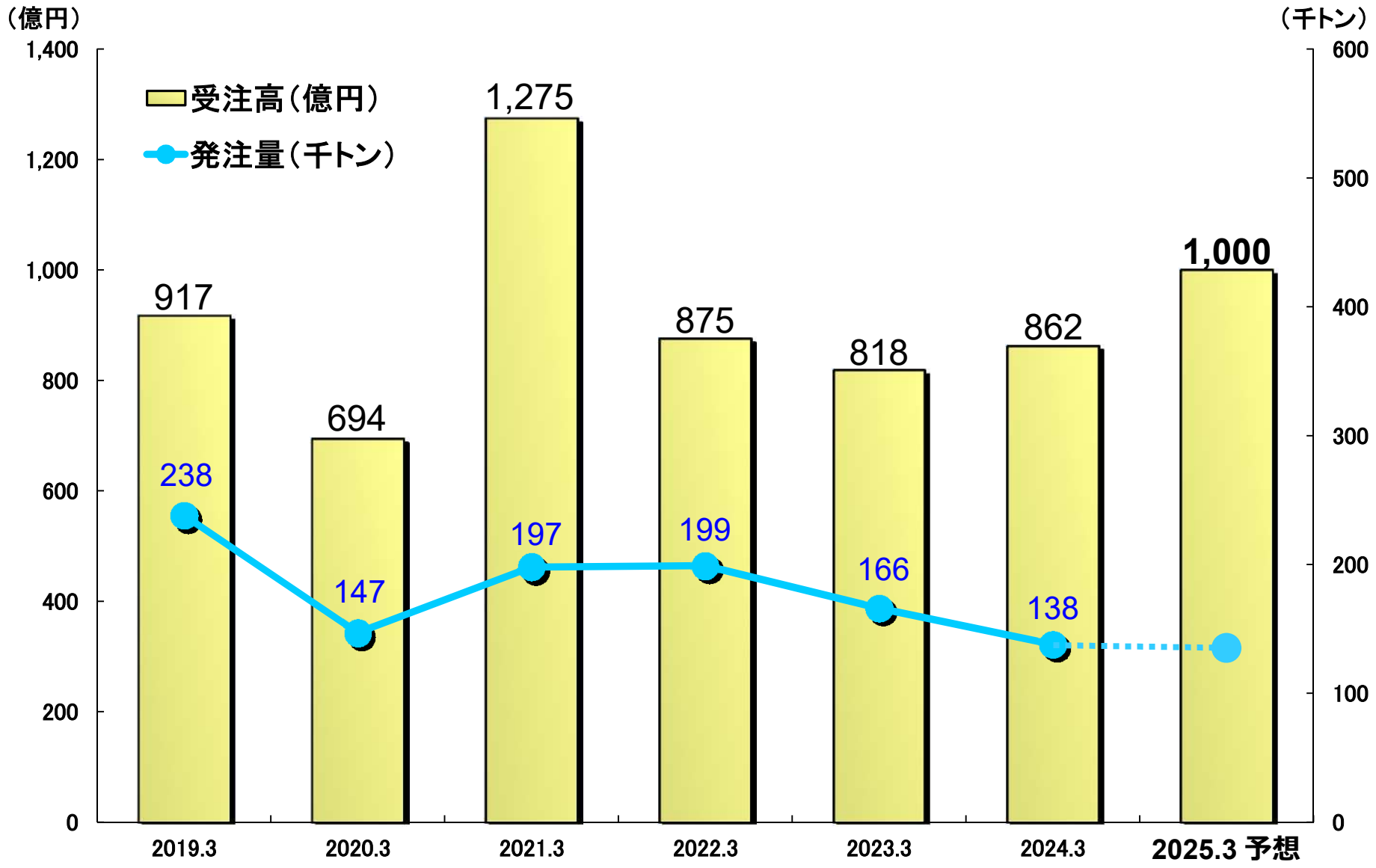
株式会社 横河ブリッジホールディングス

2025年３月期　業績見通し

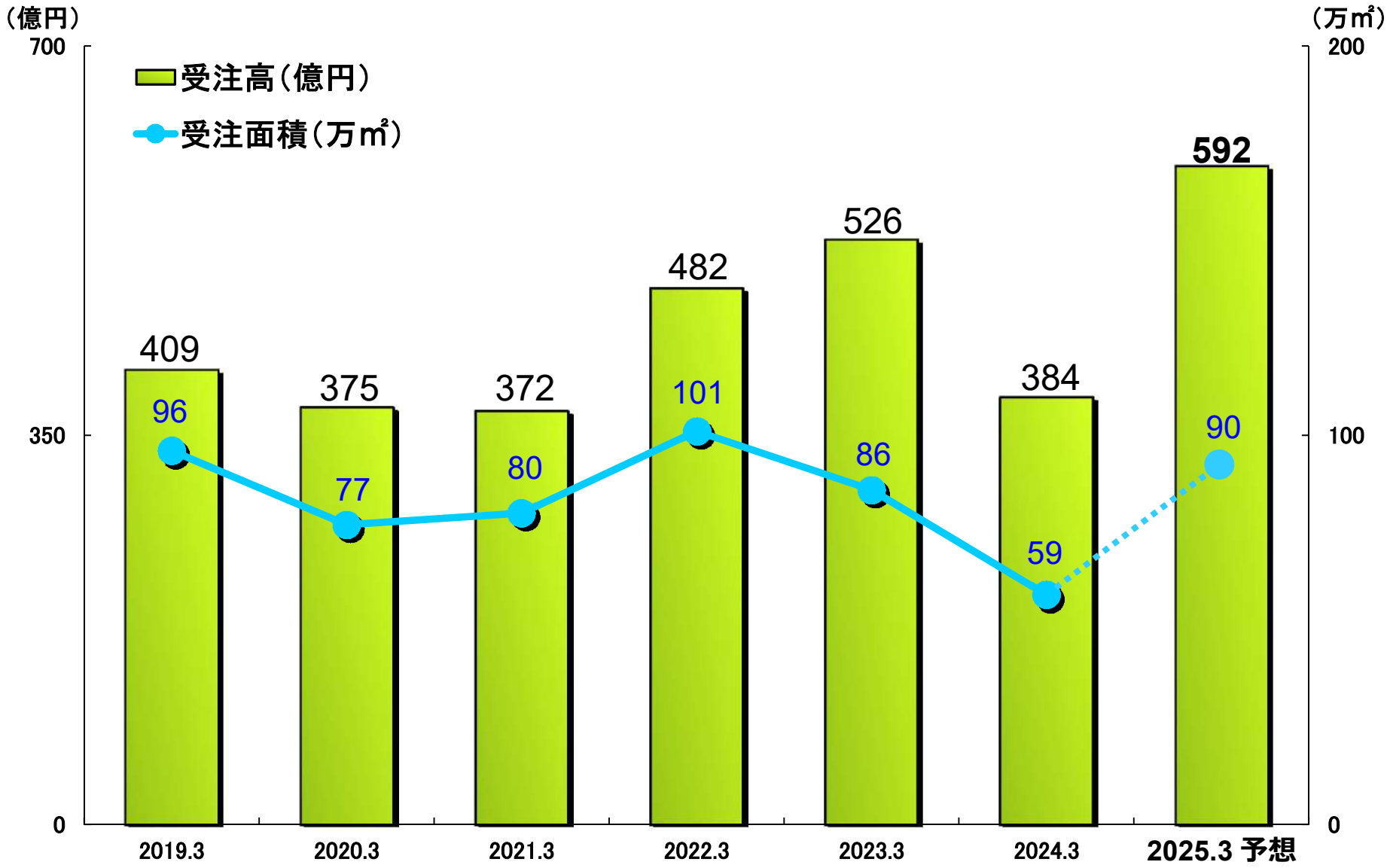
受注高の推移


（億円）
橋梁事業
エンジ関連事業（システム建築）
エンジ関連事業（土木関連／建築・機械鉄構）
先端技術事業
2,400
2,000
1,600
1,200
800
400
0
1,532
917
409
163
1,243
694
375
136
1,896
1,275
372
199
1,581
875
482
167
1,569
818
526
187
1,457
862
384
182
1,847
1,000
592
218
2019.3
2020.3
2021.3
2022.3
2023.3
2024.3
2025.3予想

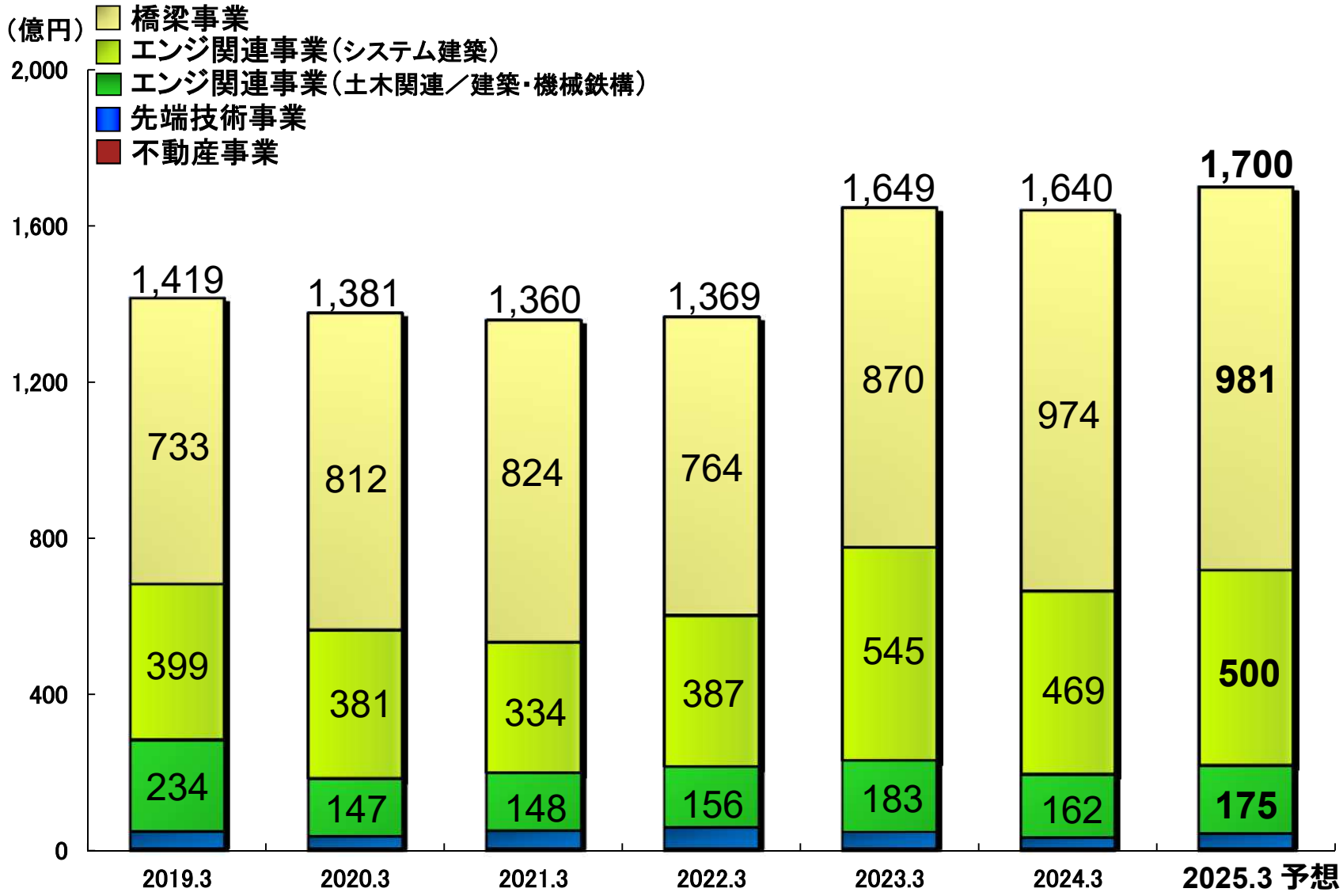
国内橋梁発注量と橋梁受注高の推移



システム建築の受注面積と受注高の推移



売上高の推移


（億円）
橋梁事業
エンジ関連事業（システム建築）
エンジ関連事業（土木関連／建築・機械鉄構）
先端技術事業
不動産事業
2,000
1,600
1,200
800
400
0
1,419
1,381
1,360
1,369
1,649
1,640
1,700
733
812
824
764
870
974
981
399
381
334
387
545
469
500
234
147
148
156
183
162
175
2019.3
2020.3
2021.3
2022.3
2023.3
2024.3
2025.3 予想

連結経営成績予想

2025年３月期

(百万円)

	上半期	下半期	通　期
売　上　高	*82,306* 78,200	*81,770* 91,800	*164,076* 170,000
営　業　利　益	*7,316* 7,100	*8,629* 8,400	*15,946* 15,500
経　常　利　益	*7,477* 7,100	*8,379* 8,300	*15,857* 15,400
親会社株主に帰属する 当　期　純　利　益	*5,855* 5,600	*5,999* 6,100	*11,854* 11,700

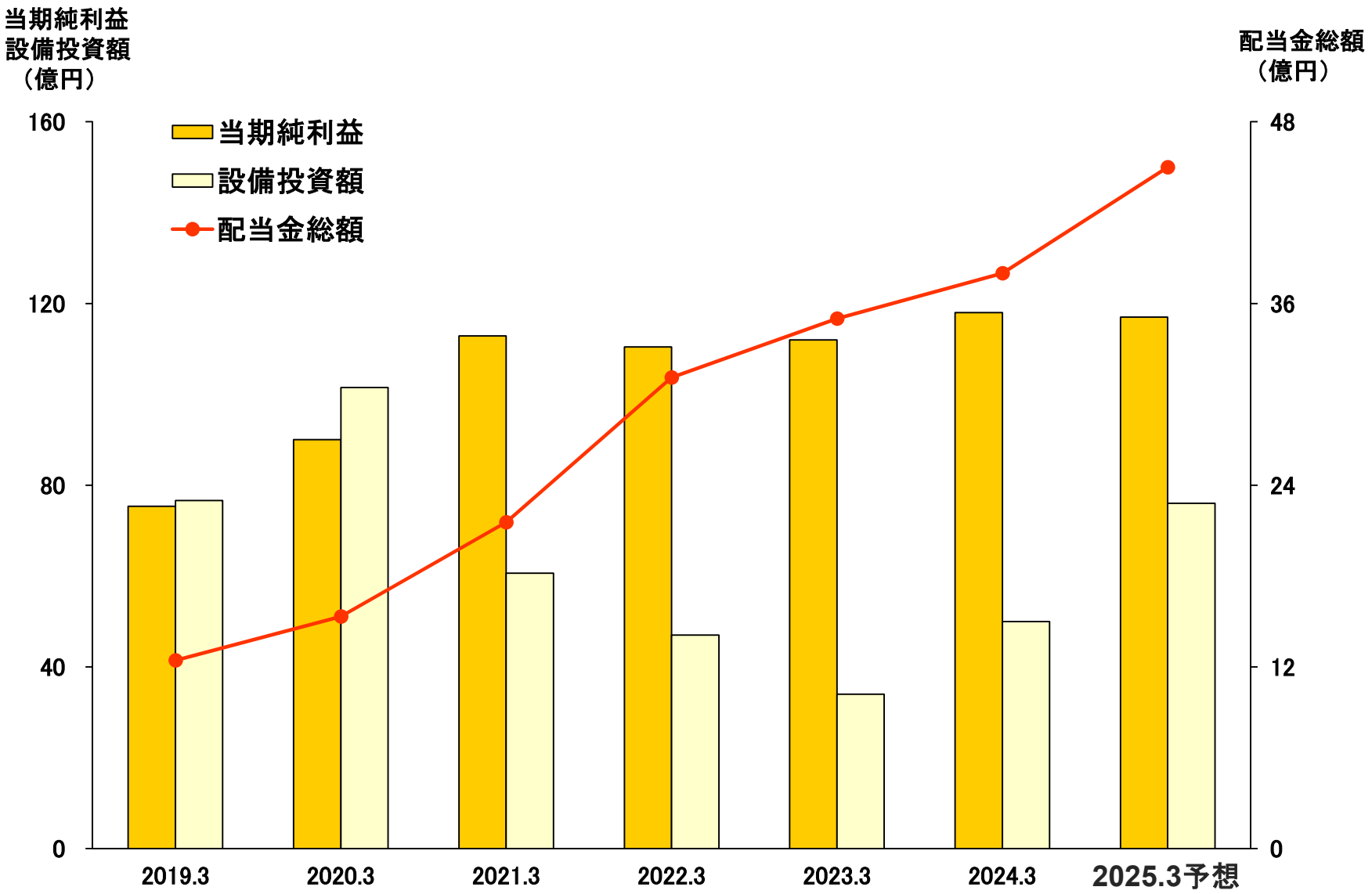
※上段は2024年３月期実績

連結経営成績予想（セグメント別）

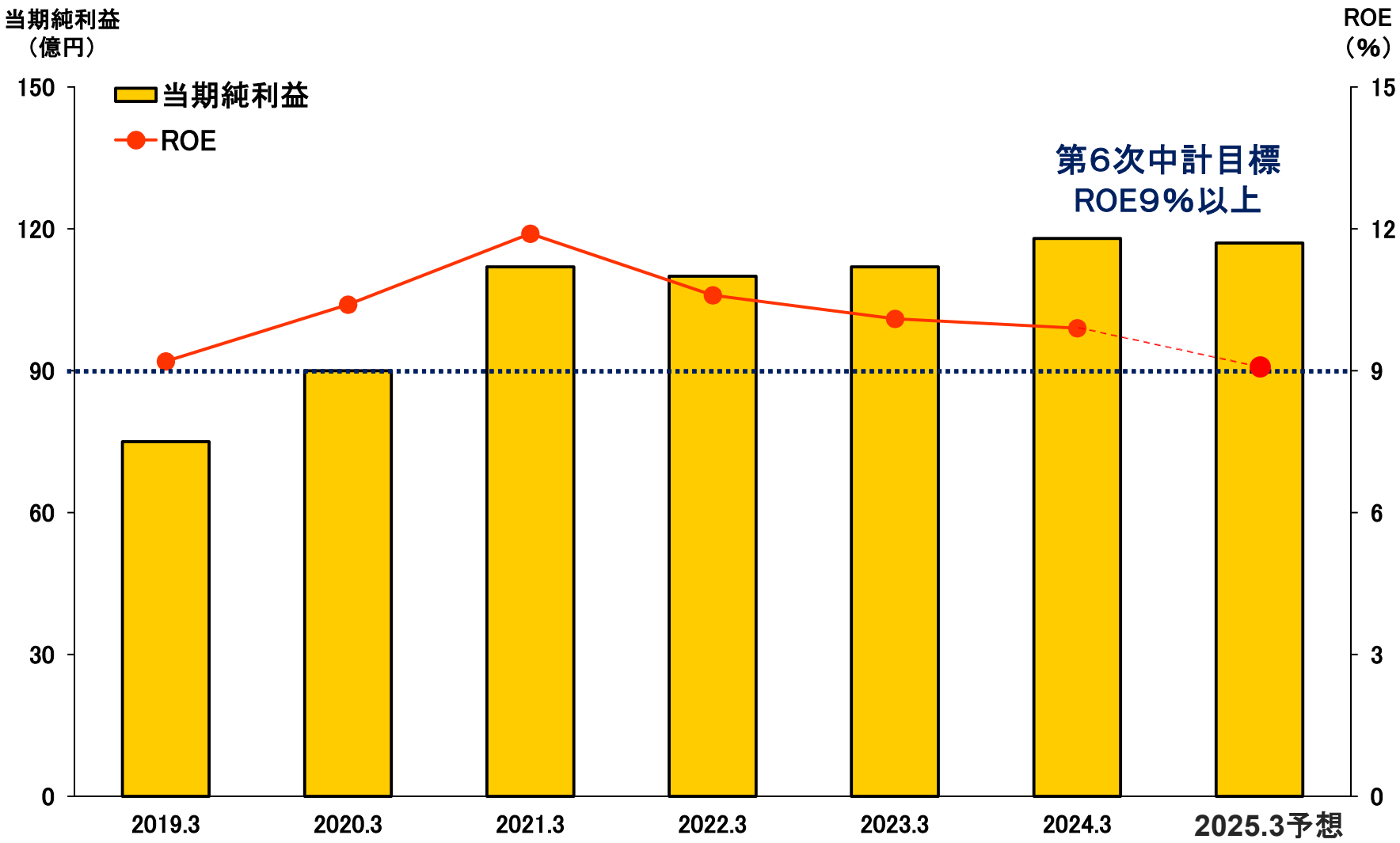
(百万円)

		2024年３月期 実績	2025年３月期 予想
橋梁	売上高	97,411	98,100
	営業利益	8,816	10,300
エンジ	売上高	63,132	67,500
	営業利益	8,398	6,800
先端	売上高	2,941	3,800
	営業利益	109	300
不動産	売上高	591	600
	営業利益	384	300
全社費用		△1,763	△2,200
営業利益計		15,946	15,500

配当金総額の推移


当期純利益
設備投資額
（億円）
配当金総額
（億円）
当期純利益
設備投資額
配当金総額
160
120
80
40
0
48
36
24
12
0
2019.3
2020.3
2021.3
2022.3
2023.3
2024.3
2025.3予想

当期純利益とROE


当期純利益
（億円）
ROE
（%）
当期純利益
ROE
第6次中計目標
ROE9%以上
150
120
90
60
30
0
15
12
9
6
3
0
2019.3
2020.3
2021.3
2022.3
2023.3
2024.3
2025.3予想

連結売上高・受注高（セグメント別）

（億円）

			2023年3月期（実績）	2024年3月期（実績）	*2025年3月期（予想）*
売上高	橋梁事業	新設橋梁事業	576	649	*675*
		保全事業	267	274	*291*
		海外事業	26	50	*15*
		小　計	870	974	*981*
	エンジニアリング関連事業	システム建築事業	545	469	*500*
		土木関連事業	101	87	*85*
		建築・機械鉄構事業	81	75	*90*
		小　計	729	631	*675*
	先端技術事業	精密機器製造事業	35	21	*30*
		情報処理事業	8	7	*8*
		小　計	43	29	*38*
	不動産事業		6	5	*6*
	合　計		1,649	1,640	*1,700*
受注高	橋梁事業	新設橋梁事業	688	590	*724*
		保全事業	132	248	*250*
		海外事業	△ 1	23	*26*
		小　計	818	862	*1,000*
	エンジニアリング関連事業	システム建築事業	526	384	*592*
		土木関連事業	94	116	*115*
		建築・機械鉄構事業	93	65	*103*
		小　計	713	566	*810*
	先端技術事業	精密機器製造事業	28	21	*30*
		情報処理事業	8	7	*7*
		小　計	37	28	*37*
	合　計		1,569	1,457	*1,847*